

毎月11日掲載

むすび塾

人が30分ほど歩いて市文化センターに避難したことが報告された。...

「次に地震があった時に心配なこと」...

事業内容の変革も 椎井一恵社長の話 地元企業と災害時の対応を協議していた...

津波対策の多様化浮き彫り 短時間での津波襲来など、さまざまなケースを想定した訓練を行う必要性が...

震災に強い企業像探る

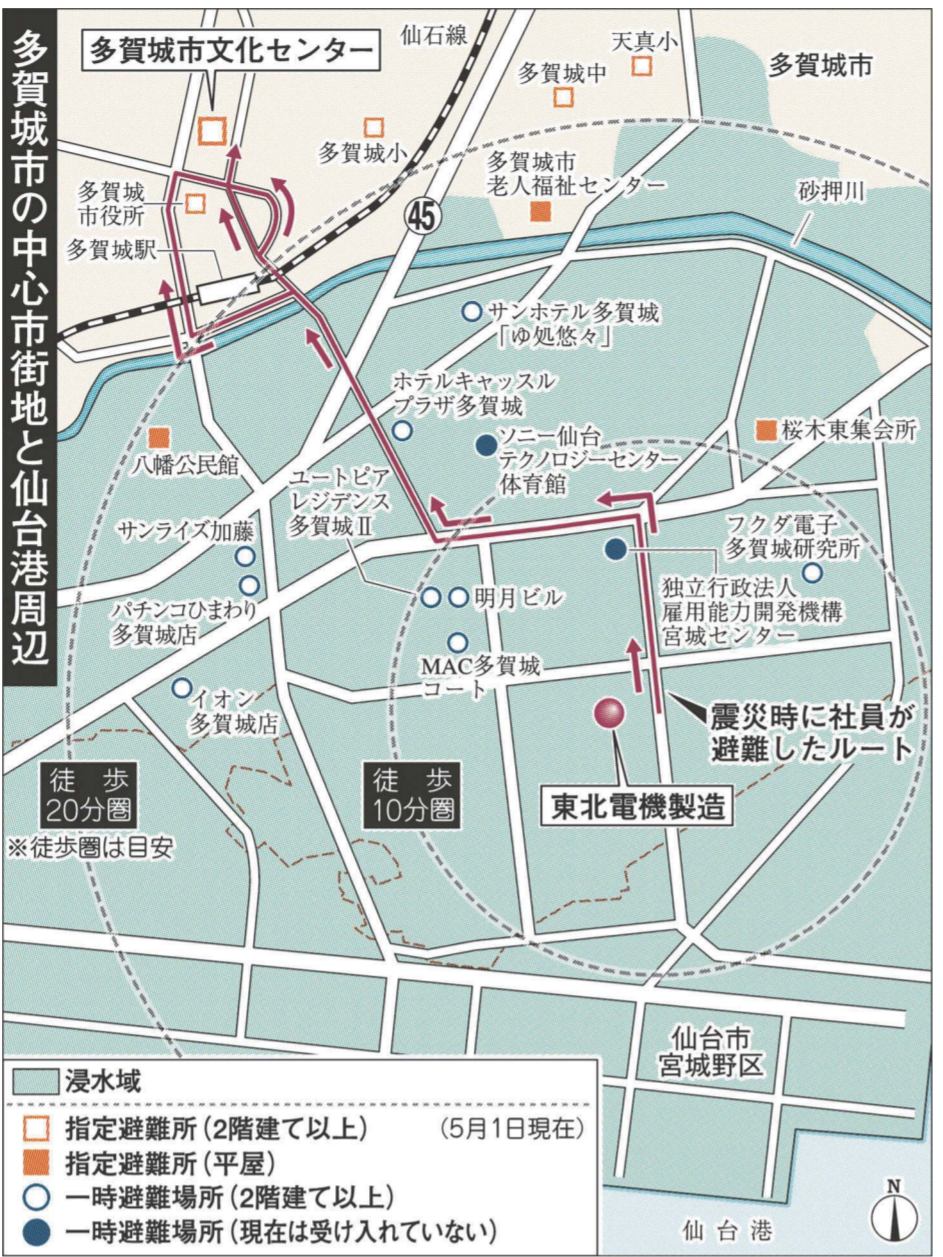
第2回「むすび塾」は5月29日、復興支援機構(東京)の木村拓郎理事長をコーディネーターに、多賀城市内で電柱の支柱などを製造している東北電機製造が開いた。...

「津波の到達予測時間」といって、避難場所を設けて、避難に何分かかるのか試しておく。...

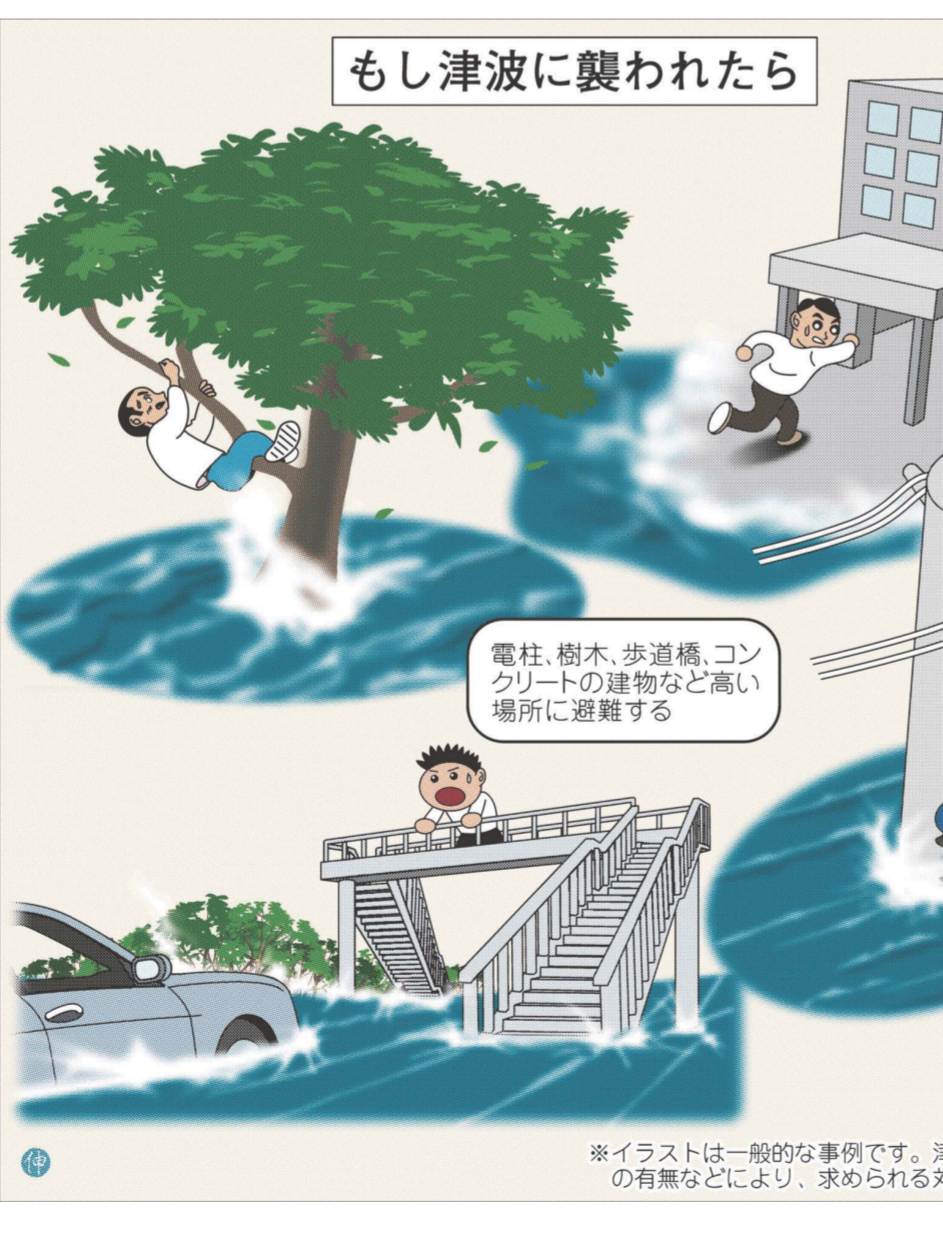
「津波に襲われたら」 電柱、樹木、歩道橋、コンクリートの建物など高い場所に避難する...

避難所に移動無線設備へ 白石市生活環境課防災担当課長補佐 熊谷弘一さん(53)...

巡回ワークショップ @多賀城市宮内の「東北電機製造」



多賀城市と東北電機製造の被害 市によると東日本大震災の津波高は仙台港で最大7mで、浸水面積は海寄りの市南東部を中心に、市全体の3分の1に当たる662haに及んだ。...



現場から 市が把握している介護が必要な高齢者や障害者のうち、手助けが欠かせない人たちの個人情報について、本人や家族の同意がなくても民生委員や町内会に伝えられます。...



近隣企業との連携課題 配電機器事業部・北村洋平さん(22) 同僚のほか専門家の話も聞くことができ、会社としての備えについて考えさせられた。...

避難先と経路を再確認 総務部・布田佳子さん(43) 震災当日は社内放送を担当し、全従業員に駐車場に集まるよう繰り返し呼び掛けた。...

教訓と備え 社内整理 配電機器事業部・庵原忠さん(36) 労組委員長 震災から1年余りが過ぎ、仕事も軌道に乗ってきたので、震災の教訓と今後の備えを整理する時期を迎えたと思う。...

率先避難 地域の模範に 安倍祥・東北大災害科学国際研究所助手(津波工学)の話 東日本大震災で、東北電機製造の社員は素早く避難できた。...

要介護者の情報を迅速に 秋田市防災安全対策課長 工藤伸二さん(52) 秋田市は3月、災害対策の基本理念を定めた市災害対策基本条例を秋田県内の自治体で初めて制定しました。...

情報をお寄せください 防災・減災のページは、「いのちと地域を守る」をテーマに、読者とともに考え、作るページです。...

募集しています。宛先は〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2の28、河北新報社報道部「防災・減災のページ」係。...